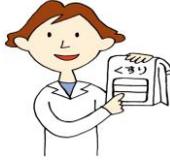


熱性痙攣で入院される患者・ご家族の方へ

月日(日時)				
経過(病日等)	入院当日	2日目	3日目	4日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆点滴後、排尿がある ◆点滴をつけることができる ◆痙攣がおこらない 	<ul style="list-style-type: none"> ◆痙攣がおこらない ◆熱が37.5℃以下となる ◆食欲がでてくる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆痙攣がおこらない ◆熱が37.5℃以下となる ◆元気が出てくる ◆食欲が出てくる 	【退院基準】 <ul style="list-style-type: none"> ◆痙攣がおこらない ◆熱が37.5℃以下となる ◆機嫌がよく、食欲が出る
治療薬剤処置	退院が決まるまで点滴をします 抗菌薬は朝と夜に点滴します 痙攣予防の坐薬を使用する場合があります 熱が高い時は解熱薬を使います 点滴の漏れや皮膚のかぶれがないか確認をいたします			必要に応じて飲み薬があります 
検査	血液検査があります 必要に応じて胸のエックス線撮影があります			
活動・安静度	病棟内歩行ができます			
食事	通常の食事です			
清潔	看護師が毎日体を拭きます	点滴刺入部のテープの貼り替えをします		
排泄	特に制限はありません			
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	受持医が入院治療計画を説明をいたします 看護師が入院生活の説明をいたします ベッドからの転落を防ぐために、必ず柵を上段まであげて下さい 受持医と看護師が痙攣の対処法を説明いたします 入院費は2割負担で概ね4万5千円です 入院費に関するご心配事がありましたら、お早めに医療福祉相談室にご相談ください			受持医、看護師が退院後の生活について説明いたします

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります

注2 入院期間については現時点で予想される期間です